令和２年\*\*月\*\*日

\*\*\*\*\*医院

院長　\*\*\*\*\*\*\*　様

おたる地域包括ビジョン協議会

会　長　　　　　阿久津　光之

ICT委員会長　　髙村　一郎

在宅医療・介護連携ICT活用事業「おたるワンチーム」のご案内

平素より、小樽市地域住民の方々の健康のためにご尽力いただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

　高齢化の進む我が国においては、国策として地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築が推進されております。またそのためには医療介護の多職種連携ネットワーク構築が急務とされ、小樽市では、平成２６年より「おたる地域包括ビジョン協議会」を立ち上げ取り組みを進めております。

多職種連携ネットワーク構築の目的は、住民一人ひとりに対する医療・介護サービスが最適化され、社会保障費の抑制と生活の質や医療介護に対する満足度の向上を同時に実現することに他なりません。この目的を達成するには、単にICT（情報通信技術）を導入するだけではなく、共通の目標を掲げ、適切な運用ルールの設定とＰＤＣＡサイクルによる改善、成功事例の共有化による更なる質の向上を継続的に行っていく必要があります。当会では患者・ご家族と共に多職種が連携してICTを活用した患者情報共有システム「おたるワンチーム」の運用を平成29年より開始し、現在100以上の医療・介護機関が登録して活用しております。

この度、介護機関　　　　\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*事業所　を通じて貴院にかかられている、

\*\*\*\*\*\*様に利用希望が寄せられております。この機会に是非「おたるワンチーム」の

活用をいただきたくご案内いたします。

別添の【利用規約への同意書兼誓約書】および【事業所登録申請書】をご覧いただきご検討の程よろしくお願いいたします。

ICTを活用した「おたるワンチーム」の内容は小樽市ホームページhttps://www.city.otaru.lg.jp/simin/korei/zaitakuiryo/ictkatuyou.html　をご覧ください。ご利用に際して事務局までご連絡いただきますと、後日ご説明に伺いさせていただきます。

問い合わせ/送付先　　　〒047-0033　小樽市富岡１丁目５番１５号　小樽市医師会

おたる地域包括ビジョン協議会　事務局　新谷　　　　　　　　　　　　　℡　0134-22-4111

＜別紙＞

１．事業の目的および概要

小樽市における医療介護の多職種ネットワークを構築・運用し、地域住民に対する医療介護サービスの最適化により、社会保障費の抑制、生活の質の向上、医療介護サービスに対する満足度の向上を図る。

ＩＣＴツールはＮＴＴグループが提供する多職種連携システムの「ひかりワンチームＳＰ」を使用する。

２．事業の目標

医療・介護サービスの最適化により以下を実現する。

・在宅もしくは施設での生活の延伸（増悪による入所・入院の回避）

・病状や要介護度の改善によるＱＯＬの向上

・安心、納得、満足の得られる看取りの支援

３．「ひかりワンチームＳＰ」の概要

ＮＴＴグループが提供するクラウド型の多職種連携ＩＣＴシステムであり、３省ガイドライン（※）に準拠している。また日本医師会が平成２６・２７年度医療ＩＴ委員会答申「医療・介護における多職種連携のあり方」でリスクが高いとしたＢＹＯＤ（※）を防ぐための端末認証の仕組みを備えており、必要十分なセキュリティが確保されている。

機能面では個々の利用者（患者）に対する目標管理および目標と連動した簡易な状況報告・状況確認が可能な機能を備えており、各利用者（患者）のチームが効率的に使用できるだけでなく、本事業全体での目標管理を行うことが容易である。

４． その他

システム利用ＩＤの払い出し、初期パスワードの発行等の事務処理、システム運用・設定等に関わる件は、おたる地域包括ビジョン協議会の監督の下で、エーザイ株式会社および株式会社ＮＴＴデータ経営研究所が支援・対応する。

以上

（※）３省ガイドライン：厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」、総務省「ASP・SaaS における情報セキュリティ対策ガイドライン」、「ASP・SaaS 事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン」、経済産業省「医療情報を受託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン」

ＢＹＯＤ：Bring Your Own Deviceの略。個人の私物端末を業務に使用すること。

